

高校生ものづくりコンテスト

木材加工技術競う

県大会、秋田工・菅さん1位



高校生が木材加工の技術を競った「ものづくりコンテスト」

トの木材加工部門の県大会が、高校で開かれた。工業系学科
高校生ものづくりコンテスト15日、横手市の横手清陵学院

のある県内4校から7人が参加し、秋田工業1年の菅勢吾さんが1位に輝いた。

参加者は3時間の制限時間内に大きさが異なる木材5本を加工し指定された全長40センチの造形物を作り上げた。木材に印を付ける墨付けを行い、のこぎりで切断したり、のみで穴を開けたりするなど手際よく作業を進めていた。

大曲技術専門校の職員ら審査委員が、形や長さが図面通りに仕上がっているかを採点した。2位に秋田工業1年の小阜琉生さん、3位に大曲工

業3年の石澤正宗さんが入賞した。

1位の菅さんは県代表として、8月に山形市で開催される東北大会に出場する。「入学したての頃は課題に倍以上の時間がかかっていたが、先輩や先生の指導のおかげで1位になった。東北大会では今後に生かせる経験をさらに積みたい」と話した。

県大会は県高校教育研究会工業部会の主催。木材加工のほか、電気工事や溶接、測量など計7部門で実施している。

(佐藤悠大)